

様式第7号（第11条関係）

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金実績報告書

令和5年3月27日

（あて先）

さいたま市長

所在地 埼玉県比企郡ときがわ町大字
本郷343番地7

団体名 特定非営利活動法人 にじの絲
代表者氏名 吉野 愛

令和4年5月19日付け市市協第4-17号で交付決定の通知を受けた令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成事業（一般助成事業・団体希望助成事業）が完了したので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第11条の規定により、関係書類を添え、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1 交付決定額 | 金 <u>240,000</u> 円 |
| 2 精算額 | 金 <u>210,728</u> 円 |
| 3 事業実施報告書 | |
| 4 事業収支計算書 | |
| 5 添付書類 | |
| (1) 支出を証する書類 | |
| (2) 事業の成果物、写真、その他事業に関する資料 | |



事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区分		算出根拠	金額
収入合計 (A)		(a) + (b)	266,305
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	55,577
団体の自己資金	① 自己搬出金		55,577
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	210,728

<支出>

区分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	266,305
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	講師謝金3名分	90,000
	② 印刷製本費	つながるBOOK6000部印刷費 128,725円の内助成金充当分	120,728
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	210,728
助成対象経費のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 役務費 (通信運搬費等)	つながるBOOK送料22か所	32,150
	⑫ 印刷製本費	つながるBOOK印刷費128,725円の内 助成金を上回る分7,997円 講座チラシA4両面カラー5000部 15,430円	23,427 /
	⑬		
	⑭		
助成対象外 経費	事業に附随して 必要な経費 ((c)の10%以内)	⑮	
		⑯	
		⑰	
	その他の経費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑳の合計 (a) と同額	55,577

※(A)=(B)、(a)=(d)、(b)=(c)となるように記入してください。

令和4年度マッチングファンド事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 にじの絲

事業名称	まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識	
実施期間	令和4年5月～令和5年3月	
総事業費	266,305円(内訳は別添事業収支計算書参照)	
内助成金交付申請額	210,728円	
事業の目的	<p>*計画書の「1現状における課題と事業の目的」(この事業は何を目的に設定しましたか?)の記載事項を転記してください</p> <p>子どもにかかわる大人たちが正しい性の知識を得ることで、性をタブーとせず、子ども達の性の悩みに寄り添うことが出来ます。また、適切な対応の仕方を学ぶことは、子どもの人権を守ることにもつながります。</p>	
事業の具体的な内容	いつ	令和4年8月～令和4年12月
	どこで	オンライン・オンデマンド配信
	だれに	教育関係者(学校・学童・フリースクール・塾等)、保護者
	なにを	<p>性に関するオンライン講座の収録配信、つながるBOOK(性について学べる小冊子)※の配布</p> <p>※つながるBOOKとは 産婦人科医・助産師等の専門家が、厚生労働行政推進調査事業費補助金(厚生労働科学特別研究事業)を活用し制作した中高生向けの性教育パンフレット</p>
	どうした	子どもにかかわる大人たちに必要な性の知識を届けた。つながるBOOKを大人を通して子ども達に届けた。
	(詳細な内容)別紙のとおり	
事業の実績	<p>成果</p> <p>*事業の結果を表す数値を記載ください(例:参加人数等)。</p> <p>第1回 高橋幸子さん 申込み者数 331名 再生回数 545回</p> <p>第2回 中島潤さん 申込み者数 376名 再生回数 409回</p> <p>第3回 櫻井裕子さん 申込み者数 412名 再生回数 461回</p> <p>#つながるBOOK 6000部配布(オンデマンド講座を受講した希望者に配布)</p>	

	<p>効果</p> <p>*事業を実施することで、地域や市民にどのような良い結果をもたらしたか記載ください。</p> <p>現場で子どもたちの性の悩みに直面している立場の参加者も多く、すぐに役立つ内容だったという声が多かった。</p> <p>また、オンライン・オンデマンドで配信したため、より多くの市民に届けることが出来た。</p> <p>性教育を実践し伝える立場の参加者にも、専門家によるアップデートされた正しい性の知識を伝えることが出来た。</p> <p>参加者が本講座で学んだ内容を子ども達に伝え、#つながる BOOK を配布したことで、子ども達に必要な性の知識を届けられた。</p>
事業の評価	<p>*事業実施にあたって、課題となった点、工夫した点、良かった点、苦労した点等、評価を記載ください。</p> <p>チラシを直接お渡しした学校からの申し込みが少なく、性教育関係者からの申し込みが多かったため、関心のない層にも届ける工夫が必要だと感じた。</p> <p>#つながる BOOK の申し込みが殺到し、すぐに6000部に達してしまった。</p> <p>打ち合わせや収録時の写真を使用し、SNS発信によるPRを頻繁に行ったため、申込みや再生回数は想定以上だった。アンケートでの評価も高かった。</p> <p>申し込みフォームにて事前質問を募集したため、講師には回答を盛り込んでの講座の組み立てをお願い出来た。</p> <p>動画の編集作業と#つながる BOOK の発送作業には、手間と時間が想像以上にかかった。</p>
今後の展開	<p>*この事業は、次年度以降どんな事業展開を考えていますか？</p> <p>*翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>令和5年度も引き続きマッチングファンド事業に応募しています。今回は、#つながる BOOK の配布をさいたま市民に限定し、より市民の方々に還元出来るように計画しています。</p> <p>今後も事業を継続して行えるよう、自主財源の確保(参加費の徴収、寄付、会員制度の案内など)や他団体の助成金なども視野に入れ検討しています。</p>

事業の内容		
実施時期	労力換算番号	実施内容
R4.6.2	5	第1回 講師 高橋幸子さん ミーティング
R4.6.8		イベントページ作成、および SNS 等での告知開始
R4.6.17		イベントチラシ印刷、および配布開始
R4.6.30	6	第2回 講師 中島潤さん ミーティング
R4.7.5	1	第1回 高橋幸子さん講座 収録
R4.7.25	7	第3回 講師 櫻井裕子さん ミーティング
R4.8.4	2	第2回 中島潤さん講座 収録
R4.8.12		第1回 高橋幸子さん講座 申込み〆切
R4.8.15 ~ 27		第1回 高橋幸子さん講座 配信
R4.9.10		#つながる BOOK の印刷
R4.9.5		第2回 中島潤さん講座 申込み〆切
R4.9.6	3	第3回 櫻井裕子さん講座 収録
R4.9.12 ~ 24		第2回 中島潤さん講座 配信
R4.9.13	4	#つながる BOOK 配布分の仕分け作業の実施
R4.10.3		第3回 櫻井裕子さん講座 申込み〆切
R4.10.10 ~ 22		第3回 櫻井裕子さん講座 配信

まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識
～みる・きく #つながるBOOK～



第1回☆高橋幸子さん

講師：中島潤さん～性の多様性～



まず大人が知ろう！
自分らしく生きていくための性の知識
～みる・きく #つながるBOOK～

まず大人が知ろう！

自分らしく生きていくための性の知識

第3回 恋愛編・SEX編 講師：櫻井裕子さん



R4.12.19	8	<p>ハッシュタグキャンペーンの缶バッジ梱包 発送作業、および反省会</p>
随時		<p>配信終了後、開催報告を当団体 SNS にアップ</p>
R5.3.14		<p>事業の振り返りを当団体 SNS にアップ</p>
R5.3		<p>報告書の作成、提出</p> <p><参加者アンケートより></p> <p>現在の学校における現状と性教育の必要性がよくわかりました。自分の子どもにも伝えたいと思います。</p> <p>私たちが教えたことを教える のではなく 子供たちが知りたいことを伝える ということ、これから性教育を普及していく中で大切にしていきたいと思います。大人でも知らないことを改めて学べることができました。子どもたちに正しい知識を届けることで、自分の未来の選択肢を増やし、自立した人生を歩むことができるのだと思います。 #つながる BOOK を高校だけでなく、中学校でも、すべての学校で配布してほしいです。</p> <p>性教育を行うにあたり、学校には歯止め規定があり、外部が教育を行うことの必要性を改めて感じました。まずは大人が認識を変えることが大切。日常の中で、意識していなかったところで男女の区別をしていたシーンがたくさんあったことに気づいた。「ふつう」という既存概念から離れて、多様性を考えていくことの大切さを感じました。</p> <p>みためで性別を決め続けている というところにすごく納得しました。今回参加させてもらって、性教育は一方的に指導するのではなく、子供たちに自分のこととして、考えさせることも大切だと理解しました。高校生たちのリアルな発言が、とても印象に残りました。また、これだけ情報があるにも関わらず、正しい情報が届いていないことにも驚きました。</p>